

つばた

議会だより

No.128

2014. 1. 1

迎春

12月会議

議員政治倫理条例を制定

2P

新正副議長誕生

3P

クローズアップ 小中学校にタブレット端末を

4P

議会報告会を開催

14P

いっぱん質問 町長の再出馬を問うなど 10人が登壇

15P

今年も元気だあー！

(井上保育園)

平成26年4月から施行

議員政治倫理

条例を制定

(賛成13人・反対4人)



12月会議が4日から11日までの会議期間で開催した。初日に一般会計・特別会計補正予算、条例改正など14件の議案が提出され、引き続き町政全般について10人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願3件を採択、2件を不採択とし、意見書3件を可決、続いて、人権擁護委員の推薦について同意した。また、議員政治倫理条例を議員発議で提出し、可決した。

11日には、南田孝是議長、向正則副議長の辞職に伴い正副議長選挙が行われ、議長に道下政博氏が、副議長に多賀吉一氏がそれぞれ16票を獲得して当選し、就任した。

町議会議員が町政に関して町民の厳粛な信託を受け、町民全体の奉仕者であることを認識し、その人格と倫理の向上に努め、自己の地位による影響力を不正に行使して、自己の利益を図ることのないよう必要な措置を定めることを目的として制定した。

条例の主な内容

- ・町や関係団体が行う工事、製造その他の請負契約や下請けに関する契約、業務の委託契約などに関し、特定の業者を推薦し、または紹介するなどの関与をしない。
- ・議員が実質的に経営に関与する企業について、町との間の請負契約などを辞退するよう努める。
- ・町民および議員は、議員がこの条例の規定に違反する疑いがあるときは、審査の請求をすることができ

反対

政治倫理基準、請負契約等に関する遵守事項には、国民の参政権の自由を侵害する事項が盛り込まれている。

町と直接取引をしている商業、工業の各企業の経営者が、町政に意欲を燃やし議員を目指すとき、事業をやめるか、役職を退くか、あるいは議員になることを断念せざるを得ないという状況になる。多くの事業経営者がこの問題に当てはまるのではないか。

町民の職業選択の自由、参政権をしっかりと守っていくことこそ議員の大きな役割であり、義務である。

荒井 克 議員

第28代議長に道下政博氏 第29代副議長に多賀吉一氏



多賀 吉一 氏



道下 政博 氏

選任された委員

人権擁護委員

銘形 法成 氏



(全員賛成)

(鳥越) 再任

▲慎重審議を経て

人事

定住促進支援制度スタート!

○定住促進事業費
355万円

10月1日以降に婚姻届を提出し、町内に定住すると決めた新婚夫婦に対し、結婚祝い金を交付する。他の事業は順次実施していく。



▲おいでよ、津幡へ

○介護予防・地域支え合い事業費
58万円

新たに高齢者の介護予防や生活支援活動を行う団体にに対し、備品の購入費など事業推進に必要な経費に補助金を支給する。

10月22日に10月会議を開催し、一般会計補正予算、条例改正、請負契約締結の議案3件が上程された。

議案は各常任委員会の審議を経て可決、平成24年度決算を認定、意見書1件を可決した。

請負契約の締結

○津幡駅前広場駐輪場整備工事
2億7772万円
(全員賛成)

条例の改正

国家公務員給与の減額支給措置を踏まえ、平成25年12月支給の期末・勤勉手当に限り、一般職および常勤の特別職について一律0・8%の減額を行う。

(賛成15人・反対2人)

反対

国民一人ひとりの持つ購買力が景気回復の鍵であり、額はわずかでも購買意欲に水を差すような政策はやめるべき。

雇用のルールを確立するなどして給与を引き上げることこそ必要なことであり、公務員の給与を引き下げの問題ではない。

塩谷 道子議員

反対

今後、国会で十分に議論され、その経緯や内容を国民に周知し、十分理解を得た上で道州制導入の時期を待ちたい。議論する前に反対の結論を出してしまってはならない。

道下 政博議員

賛成

国民の中で道州制に対する理解、議論は十分に行われておらず、その具体的な中身についても知らされていない。そういう中で、法案の国会への提出が行われることは許されない。

塩谷 道子議員

議員発議で意見書を国に提出

道州制導入に反対する意見書

提出者 向 正則
賛成者 河上孝夫・洲崎正昭・山崎太市

道州制移行のための改革基本法案は、道州制導入後の国の具体的な形を示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっている。事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高い上、道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

(賛成15人・反対2人)

こんなことに使われます クローズアップ

12月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。

一般会計補正予算 1億6622万円を可決 (全員賛成)

一般会計総額132億5344万円に

成人式に関するアンケートを実施

成人式の開催日に関しアンケート調査を行う。平成25年度から30年度までに成人に達する約2861人が対象となる。

44万円

障害者福祉サービス費

生活介護、就労継続支援等の障害福祉サービスの利用件数が増加したため補正する。

Q 昨年からの程度増えたのか。
A 9月末と比較すると、作業の指導に対する給付費で164件、生活介護給付費で109件増加した。

8541万円

小中学校に

タブレット端末を導入 (債務負担行為)

1億2672万円

小中学校のパソコン393台すべてを更新し、平成26年1月から導入するタブレット端末105台をリースする。契約・実施などにかかる費用を債務負担行為で設定する。

※債務負担行為

予算の一部として、複数年にわたる契約等で発生する将来の支出負担について期間および支出限度額を設定するもの。



▲広がる学習

鳥獣捕獲事業費

70万円



▲被害減に向けて

イノシシが11月末で36頭捕獲されており、今後の捕獲に対し補助をする。

条例改正

消費税増税に伴い改正

- 津幡町国民健康保険直営診療所条例及び津幡町国民健康保険直営河北中央病院事業の設置等に関する条例
- 津幡町水道使用条例等

平成26年4月からの消費税増税に伴い、河北中央病院と河合谷診療所の文書料や手数料、上水道や公共下水道、農業集落排水の使用料金などにかかる税率を5%から8%に引き上げる。

(賛成16人・反対1人)

反対

消費税は引き上げる必要のないものである。当初は、福祉のための引き上げだと言っていたが、大企業への減税を決めたり、社会保障費を削減したりと、庶民への負担を大きくしようとしており、認められないといけない。

塩谷 道子議員



▲自然の音色でコンサート

産業建設

委員会 審議

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

総務（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）

◎森山時夫◎荒井 克 向 正則 道下政博 南田孝是 谷下紀義

文教福祉（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎角井外喜雄◎黒田英世 塩谷道子 多賀吉一 谷口正一 河上孝夫

産業建設（土木・農林・労働・商工・上下水道）

◎酒井義光◎八十嶋孝司 西村 稔 中村一子 山崎太市 洲崎正昭

（◎委員長 ○副委員長）

文教福祉



▲元気いっぱい百彩会



▲手続きはこちらで

総務

Q 内容は。
A 石川工業高等専門学校との共同研究による電気自動車や水質浄化、新エネルギーの研究発表を行った。
また、里山の竹で作った楽器でのミニコンサートや、エコクッキング、子ども向け工作教室を行った。

シグナスで環境フェアを開催

Q 参加者数は。
A 約450人であった。

-生活環境課-

Q 来年度の開催は。
A 環境保全に関する催しは行いたい。

幼稚園・小中学校の消防設備などを修繕

Q 幼稚園・小中学校の消防設備点検は年に何回行うのか。
A 基準に従い毎年1回行っている。点検後の修繕は、迅速に対応している。

Q 体育館天井等の点検委託に關して、国や県からの補助は。
A 工事が400万円以上かかった場合は点検委託料も含めて工事費の3分の1が交付金として出る。

Q 体育館天井等の点検委託に關して、国や県からの補助は。
A 工事が400万円以上かかった場合は点検委託料も含めて工事費の3分の1が交付金として出る。

-学校教育課-



▲点検され安心

消費生活相談の現状は

-交流経済課-

Q 相談件数・内容は。
A 平成24年度は電話相談を含め約90件あった。本年度は11月末で90件あり、昨年の同時期と比べて増加傾向にある。高齢者への健康食品の売りつけや詐欺メール、多重債務の相談が多い。

Q 相談員の資格は。
A 要綱で消費生活相談専門員、消費生活相談専門員、消費生活相談員、消費生活アドバイザーの資格を持った人と決められている。

現在の相談員は、消費生活相談専門員とコンサルタントの資格を持っている。

定住促進支援制度現在の状況は

-企画財政課-

Q 実施内容は。
A 住宅の取得に関する奨励金3種のほか、新婚夫婦に対する祝い金、町民を新規雇用した事業者に対し奨励金を交付する。
Q 受付状況は。
A 11月末で、住宅取得奨励金は44件、結婚祝い金は14件である。

Q 転入と同時に住宅取得に関する奨励金の手続きができるよう、町民児童課に窓口を設けられないか。
A 現体制では、町民児童課での対応は困難であり、企画財政課での手続きをお願いしている。案内板を設置し、窓口を分かりやすくするよう工夫している。

安心生活をサポート

-健康福祉課-

Q 対象となる事業は。
A 生活支援サービスの充実を図ることを目的に、事業立ち上げの設備などの経費を補助する。
J A 石川かほくが刈安地区の百彩会（サロン）を拠点に高齢者の日常生活相談を、民間

Q 買い物支援は介護保険の対象になるのか。
A 個々の契約となり、対象ではない。

Q 配達の手数料は。
A 町内どこでも1回の配達手数料が100円を予定している。品物の代金は本人の実費となる。

職員提案制度の実績は

-総務課-

Q 概要は。
A 行政の改善を目指し、職員から提案を募集している。
さらに平成24年度からは、気づいたことを指摘するワンポイント提案、すでに実施した事例を報告する改善事例報告の提出も受け付けている。

Q 提案件数は。
A 平成22年度20件、23年度38件、24年度101件と件数は伸びている。本年度は12月現在で94件の提出がある。
Q 実施した提案例は。
A 役場庁舎1階のトイレ照明の有感自動スイッチへの改修や、課番号による庁舎案内を分かりやすくした。

件を審査

採択

「手話言語法」制定を求める

◎請願者

(福) 石川県聴覚障害者協会理事長
河北郡市聴覚障害者協会会長

紹介議員

南 武
川向 幸吉
向 正則
(全員賛成)

主旨 障害者基本法の第3条には「全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められており、早期の手話言語法の制定を求める。

採択

積雪寒冷地域対策の
推進を求める

◎請願者

公明党津幡支部津幡南地区員

紹介議員

川口 雄幸
道下 政博
(全員賛成)

主旨 先般改正された国の豪雪地帯対策基本計画により、各自治体が安心して万全の道路除雪が行えるよう、新たに創設された道路除雪補助や豪雪時における臨時特例処置を確実に実施し、財政支援を図ること。



▲道路除雪に支援を

採択

企業減税等から
確実な賃金引上げを求める

◎請願者

公明党津幡支部津幡南地区員

紹介議員

川口 雄幸
道下 政博
(賛成16人・反対1人)

主旨 10月1日に決定した税制改正大綱には、企業減税、所得拡大促進税制が決定、減税等による業績好転から得た収益を確実に賃金上昇に反映させるよう、政府に実効的な施策を講じることを求める。

反対

大企業は高収益を上げて、賃金を上げず確実に内部留保をため、今や270兆円にのぼる。大企業の減税をやめ、内部留保を使って賃金を上げるべきである。

塩谷 道子 議員

採択された3件の請願は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

請願 5

みなさまからの

不採択となった請願

「秘密保護法」制定に反対する
意見書の提出を求める

◎請願者

安保破棄石川県実行委員会事務局長
石川憲法会議代表委員
石川県平和委員会事務局長
国民救援会石川県本部会長
自由法曹団石川県支部支部長
治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

紹介議員

柴原 和美
菅野 昭夫
山野 健治
藤牧 渡
西村 依子
北口 吉治
中村 一子
黒田 英世
塩谷 道子
(賛成2人・反対13人)

賛成

請願が審議されたときには、国会で可決されていたが、請願提出が遅れたのでなく、秘密保護法案を審議する時間が非常に短時間であったからである。

この法案は、共謀、教唆、扇動などにより、秘密を知ろうとする国民を処罰し、国民を威嚇する狙いがある。秘密保護法で守られるのは、核密約などを結んだ政権であり、国民ではない。

塩谷 道子 議員

反対

12月6日に参議院本会議で可決しており、この請願自体は白紙同然である。審議する前に取り下げるべきである。

荒井 克 議員

賛成

国民から8兆円もの所得を奪い、270兆円の内部留保をため込む大企業に減税すれば、今以上に国民の暮らしと景気を悪化させ、財政危機は一層深刻になる。今必要なことは、消費税増税中止と賃金引き上げに向けた具体的な政策である。

塩谷 道子 議員

反対

アベノミクス効果も徐々に現れ、消費拡大に進む傾向にある。国の現状を踏まえ、今後の社会保障費の財源確保には、景気に左右されない消費税増税はやむを得ないと考える。

森山 時夫 議員

反対

消費税は税収が安定しており、景気に左右されにくく、低所得者対策や軽減税率の導入も約束され、経済再生に向けた道筋を確かなものにするこ

荒井 克 議員

国に対し「2014年4月からの消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める

◎請願者

消費税廃止石川県各界連絡会

紹介議員

加藤 忠男
塩谷 道子
(賛成2人・反対15人)

事業実績や効果を

厳しくチェック!!

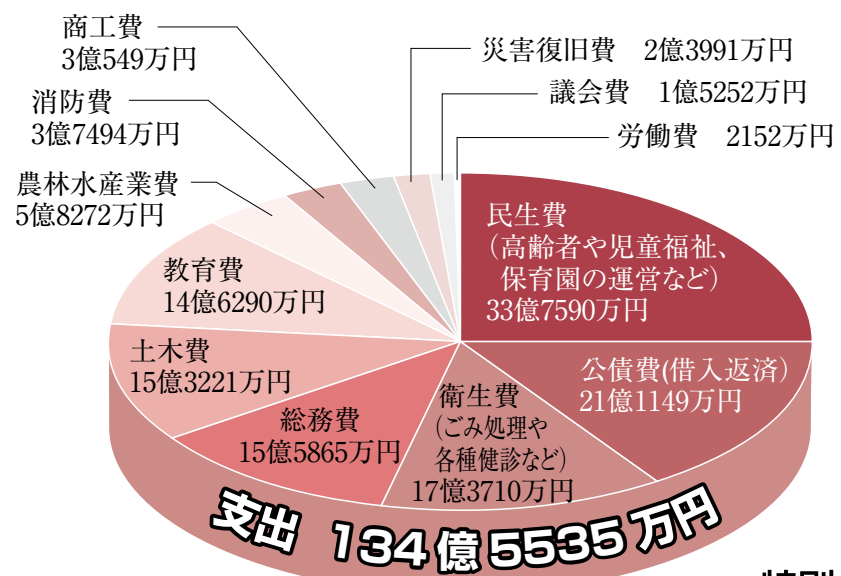
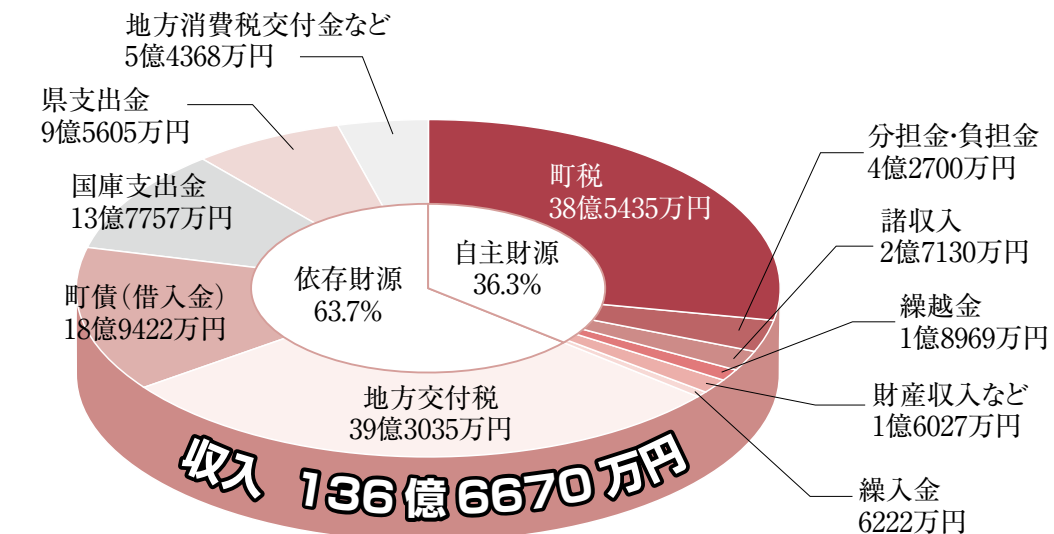
一般会計支出総額

134億5535万円を



9月会議で設置した決算審査特別委員会を9月18日から10月3日にかけて開催し、平成24年度一般会計と10特別会計、2事業会計の決算を審査した。10月会議で審査結果を報告し、認定した。

一般会計決算 (賛成15人・反対2人)



●特別会計●

(全員賛成)

会計名	収入	支出
国民健康保険	33億742万円	32億5694万円
直営診療所事業 (河合谷診療所)	489万円	489万円
後期高齢者医療	3億261万円	2億9603万円
介護保険	22億8972万円	22億5945万円
簡易水道事業	385万円	326万円
公共下水道事業	18億9217万円	18億4738万円
農業集落排水事業	1億7158万円	1億7053万円
バス事業	7692万円	7428万円
ケーブルテレビ事業	6779万円	6779万円
河合谷財産区	151万円	151万円

●事業会計●

(全員賛成)

会計名	収入	支出	
河北中央病院	収益的収支	10億447万円	9億7001万円
	資本的収支	4821万円	9525万円
水道	収益的収支	7億1158万円	6億4162万円
	資本的収支	9075万円	2億3073万円

決算の主な指摘事項

税・使用料について

- 収入未収入額は、町税約2億3000万円など多額となっている。収納率の向上に努めるとともに、悪質な滞納者には強い姿勢で対処せよ。

総務部関係

- 公共下水道事業、農業集落排水事業は、接続率の向上に努め、適正な使用料の確保を推進せよ。

教育関係

- ハクチョウ飛来促進事業は、奨励金を交付する水田面積の区分の新設または湛水による補償など見直しを検討し、当町へのハクチョウ飛来促進を図れ。

病院関係

- 公立病院として地域に密着した医療をさらに展開せよ。

◇決算審査の過程で、速やかに実施、検討するなどの回答があったもの。

町民福祉部関係

- チャイルドシート購入補助にドレミファ商品券が支給できないか検討する。

産業建設部関係

- 河合谷ふれあいセンターの利用実績を勘案し、電力会社との契約変更を検討する。

総括

経常収支比率が89・4%、実質公債費比率が16・1%と毎年改善されているものの、各種事務事業を着実に取り組むための財源確保とその計画、実行、評価、改善を継続的に引き続き財政健全化に向けた計画的な財政運用を図る。

※経常収支比率

人件費や公債費など経常的な支出に対して町税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを示す。

※実質公債費比率

借入金の返済額などの大きさから、資金繰りの危険度を指標化した数値。

反対

町道庄能瀬線改良事業は必要のない道路建設で、多額の費用がかかる無駄な事業である。
新たな大型事業を進めるより町内の公共建築物の点検整備計画を優先し、整備費を確保することこそ必要である。
塩谷 道子議員

賛成

地方交付税が減額となった中で、可能な限り有利な国・県支出金を有効かつ効果的に活用した経緯が見える。
また、経常経費の削減に努め、減額すべき事業は減額し、住民生活にとって必要な事業は増額するというメリハリのある予算執行が見受けられる。
八十嶋孝司議員

決算審査特別委員会

- 委員長 向 正則
- 副委員長 酒井 義光
- 委員 八十嶋孝司
- 荒井 克
- 森山 時夫
- 角井外喜雄
- 塩谷 道子



議会運営委員会

県森林公園活性化対策特別委員会

町財政力強化の一環として議員定数を平成19年に18人から16人に、23年には13人に削減した。連合審査会は予算を所管する常任委員会にもう一方の常任委員会が参加する形で行われており、全議

【研修内容】

・岡垣町議会

単独行政を行うため、

【視察の目的】

員で審議すること共通理解を得ることができる。

【研修内容】

・篠栗町役場

平成21年3月に森林セラピー基地の認定を受けている。森林セラピーロードとして5コース設定し、森の案内人であるセラピーガイドと一緒に森を歩くイベントを行っている。



▲森林セラピーロード（篠栗町）

議員定数削減の経緯や森林セラピー基地

11/5~6

(福岡県岡垣町・篠栗町)

先進地に

委員会視察レポート



産業建設

常任委員会



▲ズラリと並ぶ太陽光パネル（富山太陽光発電所）

・富山太陽光発電所
約3万㎡の敷地に4815枚の太陽光パネルを

【研修内容】

【視察の目的】

新エネルギーとしての太陽光発電について先進的事例を学ぶ。

また、並行在来線開業後、新たに建設された駅や農業公園の先進的事例を視察し、今後の施策の参考とする。

【視察の目的】

設置し、年間で一般家庭約250軒分の使用電力量を発電できる。これにより、CO₂排出量を年間約300t削減が可能である。

【研修内容】

・しのの鉄道（千曲市）
並行在来線のしのの鉄道が建設した2駅を視察した。

駅の業務は、しのの鉄道からの業務委託を受けて千曲市が運営しており、年間委託料は2駅で約550万円である。

・チロルの森（塩尻市）
平成11年に開園した広さ72haの体験型農業公園である。

ソーセージやピザ、パンづくりの体験や、乳しほりなどの動物との触れ合いを目的として来園される方が多く、年間約80万人が訪れている。

10/17~18

(富山県富山市)
(長野県千曲市・塩尻市)

新エネルギーと新駅設置、農業公園を学ぶ

総務

常任委員会



温水プールと歴史資料館の取り組みを学ぶ

10/17~18

(滋賀県愛荘町・大津市)
(奈良県葛城市)



▲工夫された展示内容（葛城市歴史博物館）

【視察の目的】

温水プールの運営管理と健康づくりの取り組み、また歴史博物館の建設の経緯や運営管理、現状、先進的な取り組みについて学ぶ。

【研修内容】

・ラポール秦荘けんこうプール（愛荘町）
子どもから高齢者まで誰もが気軽に運動ができるようなプログラムを作成し、年代にあわせた各教室を行い、健康増進の取り組みを積極的に進めている。

ランニングコストについても当初から検討せよとのアドバイスをいただいた。

・葛城市歴史博物館
展示室のほかにも、多目的ホールや会議室も備えた施設である。

地域の歴史資料を広く一般に公開できる保存施設としての歴史資料館を建設する必要性を重視することが大切であるとアドバイスをいただいた。

・大津市歴史博物館
模型と映像による展示やニンテンドーDSを利用した音声案内サービスを行っている。

リピーターを増やすための工夫として、れきはく講座や企画展の開催、れきはくカードの発行を行っている。

・葛城市歴史博物館
展示室のほかにも、多目的ホールや会議室も備えた施設である。

地域の歴史資料を広く一般に公開できる保存施設としての歴史資料館を建設する必要性を重視することが大切であるとアドバイスをいただいた。

・大津市歴史博物館
模型と映像による展示やニンテンドーDSを利用した音声案内サービスを行っている。

リピーターを増やすための工夫として、れきはく講座や企画展の開催、れきはくカードの発行を行っている。

・大津市歴史博物館
模型と映像による展示やニンテンドーDSを利用した音声案内サービスを行っている。

リピーターを増やすための工夫として、れきはく講座や企画展の開催、れきはくカードの発行を行っている。

・大津市歴史博物館
模型と映像による展示やニンテンドーDSを利用した音声案内サービスを行っている。

リピーターを増やすための工夫として、れきはく講座や企画展の開催、れきはくカードの発行を行っている。

・大津市歴史博物館
模型と映像による展示やニンテンドーDSを利用した音声案内サービスを行っている。

リピーターを増やすための工夫として、れきはく講座や企画展の開催、れきはくカードの発行を行っている。

・大津市歴史博物館
模型と映像による展示やニンテンドーDSを利用した音声案内サービスを行っている。

リピーターを増やすための工夫として、れきはく講座や企画展の開催、れきはくカードの発行を行っている。

10/10~11

(京都府綾部市・愛知県岡崎市)

定住促進の取り組みと防災対策を学ぶ

【研修内容】

・綾部市役所

市が空き家を10年間無償で借り受け改修工事を行い、定住支援住宅として家賃3万円で貸し出し、3年以上居住するということはあるものの、多くの応募がある。

・岡崎市役所

平成20年の豪雨災害を教訓に、全国に先駆けて、浸水が起きた場合に自動でサイレンを鳴らす浸水警報装置を設置した。

また、下水道災害対応トイレは一時避難所および公園などに、避難者100人に1基程度を整備する予定である。



▲マンホールをトイレに（岡崎市）

文教福祉

常任委員会

【視察の目的】

温水プールの運営管理と健康づくりの取り組み、また歴史博物館の建設の経緯や運営管理、現状、先進的な取り組みについて学ぶ。

ズバリ 町政を問う 10人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答方式で行われます。

- 1 角井 外喜雄 議員……………16
・町長選への再出馬を問う
・業務継続計画の策定を ほか1問
- 2 森山 時夫 議員……………17
・消防団協力事業所の認定内容を見直せ
・災害復旧工事の進捗度は ほか2問
- 3 荒井 克 議員……………18
・森林セラピー基地のネットワーク化を
・道徳の教科化が必要では
- 4 酒井 義光 議員……………19
・通学路の危険な歩道の整備を
・防災ラジオの導入を ほか1問
- 5 道下 政博 議員……………20
・森林公園にドッグランの設置を
・8020運動推進へ検診費を助成せよ ほか1問
- 6 八十嶋孝司 議員……………21
・津幡駅前周辺道路に自転車専用通行帯を設置せよ
・運動公園多目的競技場を人工芝化せよ ほか1問
- 7 塩谷 道子 議員……………22
・再生可能エネルギーへの取り組みに対し助成せよ
・介護サービスを町へ事業移管された場合の対策を
講じよ ほか2問
- 8 黒田 英世 議員……………23
・農業公園事業計画の再考を ほか1問
・災害時の業務継続計画を
- 9 中村 一子 議員……………24
・農業公園にモミジ山は必要か ほか4問
・工期17年もの農業公園は必要か
- 10 西村 稔 議員……………25
・新幹線金沢開業後や大河ドラマの誘致達成後の誘
客対策は
・農業公園を町民がいつでも楽しめる施設に ほか3問

さらに活性化を求め 議会報告会を開催

第1回は町内区長と意見交換



▲各委員長の報告

開催日時 平成25年11月1日 午後7時
場所 役場2階大会議室

内容 南田孝是議長、雨坪裕孝町区長会長のあいさつに続き、報告会に入り、それぞれ質疑応答を行った。

第1部
議会改革の取り組み―
道下政博議会改革検討特別委員長
9月会議の議案審査の経過、結果について―
森山時夫総務常任委員長
角井外喜雄文教福祉常任委員長
酒井義光産業建設常任委員長
24年度決算審査の経過、結果について―
向正則決算審査特別委員長

第2部 意見交換
議会全般に対する意見交換を行った。

意見交換でのQ&A

- Q 議員定数の議論はされているか。
A 2、3人の定数削減と報酬増、現状維持、定数維持と報酬増の3案があり、検討中である。平成26年3月会議までに結論を出したい。
- Q 高齢者が生きがいを持つて暮らせる施策を町に提言せよ。
A 高齢化に向けた施策は地域が一体となり進める必要がある。空き家などを利用した活動ができないか検討したい。
- Q 空き家解消条例の制定を。
A 解体費用、固定資産税の大幅アップなど、空き家対策の取り組みが問題となっている。町への寄附、跡地利用、撤去費の補助など条例の制定を含め、町へ提言したい。
- Q 町立幼稚園が定員割れであるのに、130人が私立幼稚園に通っている。町は私立幼稚園奨励費として1045万円を支出している。もつと町立幼稚園を利用すべき」と報告があったが、送迎バスのある私立幼稚園に行かざるを得ない。
A 町が送迎バスを出した場合、どれだけの予算がかかるのか、全体的な収支も含めて文教福祉常任委員会で検討したい。
- Q 町立幼稚園が定員割れであるのに、130人が私立幼稚園に通っている。町は私立幼稚園奨励費として1045万円を支出している。もつと町立幼稚園を利用すべき」と報告があったが、送迎バスのある私立幼稚園に行かざるを得ない。
A 町が送迎バスを出した場合、どれだけの予算がかかるのか、全体的な収支も含めて文教福祉常任委員会で検討したい。



▲議員定数などの検討は

議会の会議録は町議会ホームページで見ることができます。

議会を傍聴しましょう
◎町政一般質問は、年4回(3月、6月、9月、12月)行われます。
お問い合わせは、議会事務局 (Tel.288-6410)



角井外喜雄 議員

町長選

再出馬を問う

町政のかじ取りを再度、任せてほしい

角井議員

平成26年4月の町長選挙は町の最高理念である総合計画をさらに前進させるためにも重要な任期期間と考える。町のかじ取り役として、町長選挙再出馬の意志を問う。

矢田町長

平成27年の北陸新幹線金沢開業に伴い、観光を中心とした交流人口拡大や企業誘致の振興など、町の活性化を図らねばと考える。掲げた公約には道半ばのものもある。さらに4年間、町政のかじ取り役として、幸せを実感できるまちづくりに向け時代を切り開いていく考えであり、強い決意がある。



▲町政のかじ取りは

いっばん質問

ズバリ 町政を問う



森山時夫 議員

消防団

森山議員

協力事業所の認定内容を見直せ

入札参加審査で優遇



▲協力事業所認定証

当町では消防団員が2名以上かつ5年以上雇用している事業所を消防団協力事業所としており、現在4事業所認定している。勤務時間中の活動をよりスムーズにするため認定基準を見直し、団員が勤務する町内すべての事業所を対象とすべきである。

矢田町長

全国の消防団員数は、社会環境の変化から年々減少し、充足率は93・3%となっている中、当町の消防団員数は定数181人に対し、実人数178人で充足率は98・3%である。今後は新たな消防団員確保のため、平成26年度から協力事業所には入札参加審査の加点項目とするなどの優遇制度導入に取り組む。

行政機能

角井議員

業務継続計画の策定を

来年度、策定に向け取り組む

大規模な災害が発生した場合に備え、事前に災害時の幅広いリスクを想定し、影響を最小限に食い止める計画書を策定することは行政業務の重要な役割である。県は平成25年10月に業務継続計画を策定した。町でも行政機能がストップしないよう優先順位を明記した業務継続計画を策定せよ。



▲いざというときに

矢田町長

大規模災害が発生した場合には、災害応急業務に相当数の職員を割り当てる必要がある。業務継続計画により、あらかじめ各部や各課で実施する災害応急業務、優先度の高い通常業務を定めておくことは大変重要なことである。県が策定した大規模地震時における業務継続計画を参考にしながら、来年度中の策定に向け取り組む。

その他の質問

Q 農業公園の運営に民間企業の力を取り入れよ。
A 第1期整備後では赤字が予想され、民間企業の参加は困難である。

災害復旧

工事の進捗度は

優先順位に従い取り組んでいる

森山議員

8月に発生した集中豪雨に対し、町は9月に補正予算を組むなど災害復旧計画に着手した。審査が行われ、11月から順次着工しているが、早期復旧を望む声もある。現在の計画進捗度を示せ。

竹本産業建設部長

8月に発生した秋雨前線豪雨災害では、農地105か所、農業用施設104か所の災害報告があった。町単独災害は10月中旬から復旧に向け取り組んでいる。補助災害では、主管省庁による災害査定が終了し、優先度を定め、早期復旧を目指しており、町道6件、準用河川7件の発注準備が完了している。



▲急がれる復旧（彦太郎畠地内）

その他の質問

Q 消防組織の機能内訳は。
A 消防分団、日中の災害のみに活動する機能別消防団、OBによる協力隊がある。
Q 機能別団員を各分団に。
A 各地区の事情を考慮し、検討したい。



荒井 克 議員

森林公園

セラピー基地の ネットワーク化を 近隣との連携を検討

荒井 議員

竹本 産業建設部長

全国にNPO法人森林セラピーソサエティが認定した森林セラピー基地が53か所ある。森林公園をセラピー基地としてネットワーク化することにより、情報交換やシンポジウムの開催、人材育成などが期待でき、森林を生かした新たな地域振興につながると思われる。町としても森林セラピー基地のネットワーク化を早急に取り組むべきである。



▲マイナスイオンいっばいの森林公園

いじめ問題

荒井 議員

早川 教育長

道徳の教科化が 必要では

国が議論し 結論を出すもの

いじめ問題の対応で、道徳の教科化を求める声がある。子どもたちは教科として学ぶことにより、豊かな心を育み、思いやりや人間関係の大切さを身につけることができる。深刻化するいじめ問題の解決策として、教科化が必要ではないか。

家庭や地域などの社会教育力の低下が問われる中、学校が担う道徳教育の役割が大きいと考える。当町の道徳教育は、各校が道徳教育推進教師を置くなど組織としての授業、さらには教員の資質向上にも取り組んでいる。道徳の教科化は国が結論を出すものであり、今後の議論を注視したい。



▲思いやりを大切に

いっばん質問



酒井 義光 議員

ズバリ 町政を問う

通学路

酒井 議員

矢田 町長

危険な歩道の整備を

拡幅困難であり、 路面にカラー表示を予定



▲危険な通学路

町道太田舟橋線の五月田踏切から舟橋方向の一部で歩道が極端に狭い。津幡中学校の自転車通学路となっており、車道の隅を走るとはもろろん、自転車通行可能となっている歩道を走るのも危険な状態である。早急に改善せよ。

歩道の早期拡幅は困難であるが、通学路安全対策として通行区分が分かりやすい区画線によるカラー路面表示を実施し、本年度完了予定である。抜本的な安全対策としての道路改良事業は、国の補助制度の動向を注視しながら取り組んでいく。

緊急情報

酒井 議員

防災ラジオの導入を 課題があり、 町独自の導入は見送る

矢田 町長

防災行政用無線が4月から導入されたが、屋外拡声子局から流れる情報が聞こえない、聞きづらいつらなどの苦情が多くある。屋内ではさらに聞きにく

い状況にある。ラジオ放送を聞いていなくても、緊急情報を受信した際に大きな音量で緊急情報を知らせる防災ラジオを導入せよ。

防災ラジオには、すでに緊急割り込み放送の装置を備えているFMかほくの利用が考えられるが、地域や状況によっては受信しにくい場所があること、受信エリアがかほく市や内灘町を含んでいることから運用面での課題もある。また、Jアラートとの連動による新たな設備の整備には、費用も発生する。

その他の質問

Q 本津幡踏切の拡幅とわずかに残った歩道整備を。
A 関係機関に強く要望する。



▲聞きづらい屋外拡声子局



道下政博 議員

森林公園

ドッグランの設置を

県と協議したい

道下議員

愛犬の運動不足とストレス解消や、子どもたちと犬が触れ合える場所として、ドッグランを森林公園に設置するよう、県に働きかけよ。

矢田町長

森林公園では、犬を連れて散歩する方や緑化広場などで犬とたわむれる姿を目にするところがあるが、放し飼いは禁止されている。

森林公園にドッグランの施設が設置できるかどうか、また適地の有無について県と協議していきたい。



▲自由に走りたいなあ

歯の健康



▲しっかり磨こう

道下議員

8020 運動推進へ 検診費を助成せよ

対象年齢拡大も
検討したい

80歳で自分の歯が20本以上ある方を「8020達成者」といい、東京都港区で全国初の50%目標を達成した。

当町でも港区と同様の検診費用助成制度を設け、北陸や県内での一番を目指して推進せよ。

その他の質問

Q 飛べ！まこも 目指せ日本一 in 津幡を世界イベントにしたい。どうか。

A これまで以上に楽しく参加できるイベント内容にすることが重要である。

板坂町民福祉部長

当町では、町健康づくり推進協議会に歯科専門部会を置き、ライフステージにおける取り組みを協議、検討している。

8020運動において、平成21年度から25年度までに23名が表彰されている。

いっぴん質問

ズバリ 町政を問う



八十嶋孝司 議員

自転車専用通行帯を 設置せよ

関係機関に要望する



▲自転車専用通行帯を

八十嶋議員

津幡駅前周辺道路には自転車専用通行帯がない。通勤・通学時には歩道や車道を走行するなど、大変危険な状況である。

駅前周辺道路は特に自転車利用者の多い道路であり、当町の玄関口としてふさわしい自転車通行環境の整備は急務である。通行帯の設置も含め、自転車通行環境の整備を県や関係機関に強く要望する。

矢田町長

運動公園

多目的競技場を 人工芝化せよ

整備費用の調査を行い、
検討する

八十嶋議員

津幡運動公園多目的競技場は芝生の設備面が不十分である。利用者からも人工芝化による充実を求める意見が多い。

利用者へのサービスが向上し、青少年の健康育成、町民の福利厚生、健康増進にも資するものと考えられる。

人工芝のグラウンド整備には多額の費用を必要とし、その財源確保が課題である。

矢田町長

多目的競技場は、平成20年度にサッカー関係団体の協力のもと、全面に天然芝を張り巡らしたナイター付グラウンドである。

今後、整備費用の調査を行い、財源の確保ができるようであれば人工芝化について検討したい。



▲荒れた芝生

その他の質問

Q 小学生国内研修派遣事業を実施し、将来を担うリーダーを育成せよ。

A 来年度中にも小学生国内研修派遣事業として実施したい。



塩谷道子 議員

取り組みに対し 助成せよ

助成制度の範囲拡大は 考えていない



▲用水を利用した発電 (石徹白マイクロ水力発電施設)

再生可能エネルギー

塩谷議員

全国各地で再生可能エネルギーの取り組みが求められており、当町でも上大田で小水力発電の取り組みが始まっている。他市町では、さまざまな再生可能エネルギーに対し助成するなど、拡充も図っている。

町では石川工業高等専門学校との共同研究により再生可能エネルギーに取り組んでいる。特に中山間地の農業用排水路などの落差を活用する取り組み、試験機の開発および設置箇所の選定を進めている。助成制度のさらなる範囲拡大は考えていない。

矢田町長

介護サービス

町へ事業移管された場合 対策を講じよ

現制度と同様なサービスを維持

塩谷議員

社会保障改革プログラム 社会保険改革プログラムの介護部門では要支援者への訪問介護、通所介護サービスが各自自治体に移管される予定である。当町の要支援認定者は9月末現在296人、そのうちサービスを受けているのは194人である。



▲楽しく集うデイサービス

板坂町民福祉部長

平成29年4月から要支援者に対する新しい事業が開始される。このことを踏まえ、町では介護予防サービスを利用して、要支援認定者に対し、生活実態の把握を行っている。

今後生活支援資源マップなどの充実も図り、生活支援などの選択肢を広げていきたい。現制度と同様のサービス内容を維持するため、町の財源確保を考えていきたい。

その他の質問

Q 県原子力防災訓練から何を学ぶか。

A 対応の確認ができ、一定の成果を得た。

Q 町の大事業では説明会を開催せよ

A いろいろな団体に聞いており必要はない。

いっばん質問



黒田英世 議員

ズバリ 町政を問う

農業公園

事業計画の再考を

多様な交流が 楽しめる公園に

黒田議員

日本経済の先行きも不透明な現在の情勢の中で農業公園整備に3期17年総事業費は19億3000万円をかける。1期だけで町債の発行額は約4億9000万円、一般会計からの支出は約8000万円と、当町の財政規模からみれば決して少なくない。これらは若い世代に負担を強いられることになり、再考を望む。

福祉の充実を図り、住んでよかつた実感できるまちづくりを行うことは当然のことである。あわせて農業公園などの魅力ある施設などの整備により、地域の独自性を出し、多くの方に来て楽しんでいただきたい。農業公園の施設を整備することで多世代の人々が農業体験・収穫体験を行い、多様な交流を楽しめる公園になるよう努める。

矢田町長

業務継続計画を

来年度中に作成の予定

災害対策

黒田議員

新聞報道によると、森本・富樫断層帯が引き起こす地震は、今起きているかもしれない。緊張が高まっている。これらの災害を想定したとき、ライフラインも寸断された中で、限られた職員数や物資で優先度の高い復旧作業をすることが求められる。並行して通常業務も遅滞なく正常に行わなければならない。業務継続計画を早急に策定せよ。



▲充実した防災対策に向け

矢田町長

当町の地域防災計画は、森本・富樫断層帯も想定したものであるが、さらに危機感を持って防災に取り組みたい。大規模地震時における業務継続計画は、来年度中の作成に向け、取り組んでいく。

その他の質問

Q 高齢者養護施設・病院などの防災対策は万全か。

A 設備の設置と点検、避難・消火訓練が行われている。



中村 一子 議員

モミジ山は必要か

モミジのオーナー制の導入なども検討

矢田町長
農業に関する施設の充実は当然として、注目を集める施設としてモミジ山が必要である。一般の方から出資を募るオーナー制の導入も検討している。

中村議員
場所は、一定の広さが必要なことや全体像を考慮すると、計画中の場所が最適である。

農業公園

工期17年もの公園は必要か

町の発展には必要

中村議員
総事業費19億円のうち10億円が地方債である。予定地は山林であり、インフラ整備に約10億円を要する。

その他の質問

Q 農業公園は事業費約19億円で完成すると確認できるのか。
A 今後、事業費の抑制に努める。

Q 農業公園建設による地方債10億円の利子負担は。
A 金利1%として試算すると、毎年6700万円を15年間借り入れた場合、利子の総額は約1億1870万円となる。

Q 農業公園収入等の根拠が曖昧ではないか。
A 整備が終了した時点では22万人、1期目の整備では約4万2000人の来園者を予定している。

Q 農業公園計画のシンポジウムなどを開催せよ。
A 開催予定はない。

いっぴん質問

いっぴん質問



西村 稔 議員

ズバリ 町政を問う



▲開業が待たれる新幹線

西村議員
北陸新幹線金沢開業は目前に迫っているが、町の受け入れ対策はどうなっているのか。
また、大河ドラマの放映が決まったとき、どのように成果を挙げようとしているのか。

新幹線

誘客対策は

組織的に準備を進めている

西村議員

矢田町長

河北郡各市町の観光担当職員や商工会職員などで観光に関するワーキンググループを組織し、観光コースの設定や商品開発を協議している。当町としてもこの活動を後押ししている。

大河ドラマの誘致活動としては、小中学生絵画コンクール、テーマ曲の吹奏楽用楽譜の制作などを行っている。

町民が歴史に興味を持ち、誇りを持って放映を迎えることが真の成果だと考えている。

町民がいつでも楽しめる施設に

現計画を変更するつもりはない

農業公園



▲年中楽しめる公園に

西村議員

他県の農業公園を数多く視察したが、営利を目的としたものが多い。当町の農業公園は営利を目的とせず、町民がいつでも楽しめる公園にすべきである。現計画に加え、運動遊戯施設、外周道路などを提案する。商業施設は民間で、管理などは町で運営せよ。

矢田町長

農業公園を遊園地やスポーツ施設として整備したり外周道路をつくったりする考えはない。採算についても十分に検討された公園にしたい。

運営に関しては、基本計画のとおり町公共施設等管理公社に委託したい。

その他の質問

Q 生活に必要な法律を学べるまちづくりを。
A さまざまな学びの機会を設けている。

Q 住みよく豊かなまちづくりをせよ。
A 第四次総合計画に基づき鋭意取り組んでいる。

Q まちづくり対策課をつくり、町の将来について研究せよ。
A 単独の課で行う考えはない。



津幡町HP携帯版

みんなで楽しくやってみます!!

サークル紹介第17回

スーパーおもしろげん

大人と子どもでキンボール



「スーパーおもしろげん」には、大人も子どもも一緒に楽しんでいることで上達も早いようです。東京国体で3位、ジャパンオープン(全国大会)で日本一にもなりました。ぜひ皆さんも気軽に体験しに来てください。

代表 あずま 東 かつひこ 克彦

「おもしろげん」には平日の夕方に小学校の体育館や公民館のホールで元気に鬼ごっこやドッジビーをしているおなじみの教室以外に、親子で野外活動やボート、スキーなどのシーズンスポーツを楽しめるプログラムもあります。

◆問合せ
090-7744-0306
7744-0306 (東)

ディスカバー つばた⑥

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

たつ みや すぎ ~立の宮の杉(杉瀬)~

立の宮神社の大杉は高さ20メートル、幹周り5.7メートルの巨木で、樹齢950年とされています。1585年、豊臣秀吉が越中の佐々成政を討ったとき、立の宮の杉に馬をつないだところ、馬があまりにも勇むので見上げると杉の木の頂きに天狗を発見しました。その縁起のよさに馬を傍らの塚につなぎかえたと言われています。



表紙の題字は

津幡小学校6年 吉江 美翔さんの作品です。

津幡小学校は、全校のあいさつが元気な、明るい学校です。毎朝気持ちよく登校できるこの学校が好きです。



議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀(本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く)
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

あとがき

12月会議では、議員政治倫理条例が制定され、区長会この議会報告会も初めて開催されました。町民の皆さまとの交流を深め、議会活性化に向けて一歩踏み出したことは有意義なことだと感じています。

また、町民の皆さまに手にとって見ていただける議会だよりをつくるために議論を重ね、編集にあたりました。皆さまからご意見を寄せていただけたこと、より一層紙面の充実に取り組みることができました。よろしくお願いたします。(塩倉)

編集委員長 黒田 英世
副委員長 酒井 義光
委員 八十嶋 孝司
森井 荒井 克
塩谷 森山 道子
塩谷 時夫